

第六十五回
帝國議會
貴族院

河川法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

付託議案(追加)

五大都市ニ特別市制實施ニ關スル法律案

昭和九年三月十九日(月曜日)午前十時十七分開會

○委員長(子爵白川資長君) ソレデハ開會

イタシマス、前回ニ引續キマシテ御質疑ガ政府ニゴザイマスレバ……

○男爵沖貞男君 北海道デハ此河川ニ對シ

テ廳令ガゴザイマシテ、ソレデマア御取締ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、ソレハ經濟的見地カラデ、非常ニ河川ノ保護ニハ十分

分デアルカラ今度河川法ヲ御適用ナサルト

云フ風ニ伺ツテ居ルノデアリマスガ、本案ノ

御説明中ニ拓殖計畫デ河川工事ヲ施行ナ

サツテ居ル外ニ、地方費支辨デ以テ爲スツテ

居ル所ガアルヤウニ伺フノデアリマスガ、

是ハ如何ナモノデゴザイマセウ、河川法ハ

北海道ニハ只今適用サレテ居ルヤウニ思フ

ノデゴザイマスガ、之ヲ一ツ御説明ヲ願ヒ

タイ

○政府委員(佐上信一君) 御答イタシマ

ス、此河川法ガ北海道ニ適用サレテ居ルカ

ドウカト云フコトニ付キマシテハ二様ノ説

ガアリマシテ、總テノ法律ハ法律ニ別段ノ定

メノナイ限リハ植民地ヲ除イテ内地全般ニ

施行セラレルノヲ原則トスル、此意味デ河

川法ハ北海道ニ施行サレテ居ルノデハナイ

カト云フ説モアリマス、所ガ河川法ハ北海

道ニ施行セラレナイト云フヤウナ規定ハ法

文上ハナイノデアリマスガ、併シ河川法ノ

作ラレタ時期カラ考ヘテ見マシテ、又河川

ノ附屬ノ命令ノ中ニハ府縣、府縣知事府縣

令ト云フヤウナ言葉バカリヲ使用イタシマ

シテ此道路法ノヤウナ風ニ北海道ト云フ道

廳長官、道廳廳令ト云フヤウナ解釋的ノ文

句ヲ河川法ノ施行令ノ中ニ使ツテ居リマス

シ、ソレカラ今迄ノ扱ガ此河川ノ取締、ソ

レカラ工事ノ測量調査ヲ致スヤウナ場合ヤ

色ミノ、ソレカラ或ハ此河川ニ依ツテ利益ヲ

受ケル者ニ負擔ヲ命ズルト云フヤウナコト

ナドハ、河川法ノ規定ヲ少シモ使ツテ居ラヌ

ノデアリマス、ソレデソレノミナラズ、今

迄河川ノ取締令ト云フモノガ河川法ノ代リ

ニ取締規定トシテ使ハレタモノダト云フヤ

ウナ扱ヒ、政府ノ扱モサウ云フ風デアリマ

シタシ、ソレカラ地元ノ地方ニ於テモサウ

云フヤウナ譯デアリマシテ、理論上ハ北海

道ニモ十分ニ適用セラルベキ性質デアリマ

スガ、河川法全體ノ法文ヲ通覽シテ見マス

ト、ソレハ北海道ニ當嵌メルコトガ出來ナ

イヤウナ事情ガアリマス、ソレデ明確ニ法

律ヲ以テ北海道ニ之ヲ施行スルト云フコト

ニナル立前ト致シマシテ、河川法ノ中デ北

海道ニ施行スルコトヲ不便トスルヤウナ規

定ニ付テハ、勅令デ除外例ヲ設ケルヤウナ

コトニシタ方ガハッキリシテ宜イドラウト

云フコトガ此河川法ノ改正ヲ提案シタ所以

デアリマス

○男爵沖貞男君 サウ致シマスト法理論カ

ラ言ヘバ河川法ハ北海道ニアル、現實ニス

レバ實行出來ストシテ認メテ宜シウゴザイ

マスカ

○政府委員(佐上信一君) サウデアリマス

○男爵沖貞男君 北海道ノ開發ハ大體ニ於

テ拓殖費ノ豫算デ御ヤリニナツテ居リ、即チ

國費ヲ以テ之ニ當テラレテ居ルヤウデアリ

マスカラ、無論此河川改修ナドモ全部國費

デ御ヤリニナツテ居ルコトハ當然ガラウト

思ヒマスガ、然ラバ其原則ノ一部デモ御改

正爲スツタナラバ、直チニ是ガ出來ルノデヤ

ナイカト斯ウ思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(佐上信一君) 御承知ノ通り北

海道ニハ大小幾多ノ河川ガアリマシテ、ソ

レデ其中デマア利害關係ノ大キナ河川ガ約

二十六本バカリアリマス、其外ニ非常ニ澤

山ナ河川ガアリマスガ、此度拓殖費ヲ以テ

經營ヲ致シタコトニナル河川若クハ致スコ

トニ豫算ノ決定シタ河川ト云フヤウナモノ

ガ十六本程アリマス、ソレデ此内務大臣ガ

大體指定ヲセラルベキ河川ト云フモノハ

拓殖費ニ依ツテ支辨ヲサレタ河川ニ大體限

ルノデアリマス、ソレデ北海道重要河川

二十六河川ト申シテ居リマス中ニモ、十本

バカリハ河川法適用ノ區域カラ、適用ノ河

川カラ落チル譯デアリマス、其外ニ大小無

數ノ河川ガアリマスガ、サウ云フヤウナ河

川デ取締ヲスル必要ガアリマスモノハ、河

川法ノ準用ノ規定デ地方費ノ支辨デヤツテ

行キタイト云フヤウナ積リデ本案ヲ立案イ

タシマシタ次第デゴザイマス

○男爵沖貞男君 只今マデ拓殖計畫デ爲

スツテ居ッテ、サウ云フ風ナ河川法ハナイノ

デゴザイマシタガ、其河川ニ態ニ此度河川

法ヲ適用爲サルト云フコトハ、如何ナモノ

デアリマセウ、チヨット考ヘマスト、結局是

ハ矢張り道費ヲ支出シテ爲サルコトニナルノダカラ、却ッテ道ヲ困ラセルヤウニモ、チヨット考ヘラレマス、其點ハ如何デスカ

○政府委員(佐上信一君) ソレハ今マデ北

海道デ河川法ヲ施行セズシテ、河川ノ總テノ問題ニ付キマシテハ、河川取締法ト云フモノガ明治三十一年カニ出マシタモノガアリマスガ、是非ハ非常ニ法律上ノ根據ガ應令デアリマスノデ不十分デアリマス、其諸點ニ付テ御説明ヲ申上ゲテ見タイガ、御承知ノ如ク北海道ノ河川ハ、多クハ原始河川デアリマシテ、流路ノ變更、河床ノ移動ガ非常ニ多イデアリマスガ、ソレカラ流路ガ變更イタシマシテ河川ガ民有地ニ流レルコトニナリマス場合、其附近ニ於ケル所ノ土地ノ形ノ變化、工作物ノ設置ト云フモノニ付テハ、河川管理上非常ニ十分ナ取締ヲ致シテ行カナケレバナラスト思フデアリマス、北海道ノ最近ノ此災害ノ狀況カラ見マシテモ、河川ガ流路ガ變タ爲ニ民有地ヲ流レテ、サウ云フ風ナ場合ニ色ミナ工作物ヲ致シマスモノガ土地形狀ガ變更イタシマス場合ニ於テ取締ガ十分デナイト云フコトガ、北海道ノ災害ヲ益々頻繁ニスルヤウナ傾向ガアリマス、ソレデ從來ノヤウナ弱イ北海道廳令デアル所ノ河川取締規則ノミヲ以テ

致スコトガ出來ナイカラ河川法ヲ利用イタシテ行カウト云フヤウナ大體ノ理由デアリマス、河川工事ガ北海道ノ原始河川ハ迂餘曲折ヲ致シテ居リマス、丁度陽見タイナ風ニ曲ッテ居リマス、ソレヲ直流スルガ爲ニ繰替工事が非常ニ多イ、デアリマスカラ新ニ河川ニナルヤウナ土地デモ、其河川工事ヲスル前ニ、改修計畫ガ決定イタシマシタナラバ、買収以前ニ其處ニ或ル程度ノ制限ヲ加ヘテ置クト云フコトノ必要ガアリマス、ソレハ現ニ内地ニ於キマシテハ、河川法四十八條ノ本文或ハ其附屬命令ニ依リマシテ、公用制限ヲ加ヘテ居ルト云フコトハ、モウ二三年スレバ河川工事ヲスルト云フノニ、家屋ヲ建テタリ何カシテ後デ双方ト迷惑スルト云フヤウナコトハ困ルデアリマス、ソレハ廳令デハ出來マセヌガ河川法ナラバ出來マス、サウ云フヤウナ便宜ガアリマス、ソレカラ河川ノ工事ヲ取行ヒマス場合ニ堤外地、或ハ河川ノ附近地、或ハ其沿岸ニ立入りマシテ、或ハ其土地ヲ材料置場トシテ使フ場合ニハ障害物ヲ除却スル、或ハ土地所有者ノ石、砂礫、芝、竹木等ヲ供給セシムル、ソレハ此方デ土地ヲ買取ルデアリマスガ、其他ノ工事ニ必要ナ限度ニ於キマシテ、土地所有者ニ或ル負擔ヲ命ズルト云

フコトモ已ムヲ得ナイ場合ガアリマス、北海道デバ今迄ハ斯ウ云フコトヲ致シマスニハ、一々土地收用法ナドノ手續ニ依ラナケレバナナイガ、矢張り内地ト同ジヤウニ河川法ヲ適用イタシマスレバ、斯ウ云フ臨機ノ處置ガ河川法ノ運用ニ依ッテ達スルコトガ出來ルデアリマス、頻々タル災害ノ場合ニハ非常ニ便利ガアリマス、ソレカラ許可ヲ受ケナイデ河川ニ色ミナ工作物ヲ築造シタリ、或ハ許可ヲ受ケヌデ河川ヲ利用スルト云フヤウナコトハ、丁度多摩川ナドニ砂利ヲ採ルヤウナ問題ガ起キテ居リマシタガ、河川管理上許スベカラザル行爲ヲナス者ニ對シテハ嚴重ナ取締ヲスルノデナケレバ、洪水ノ際ニ災害ヲ誘發スルト云フヤウナ重大ナ結果ヲ生ズルデアリマス、河川法ニ規定スルヤウナ種々ノ義務ニ關シテハ、其違反行爲ニ對シテ嚴重ナ處罰ヲシナケレバナリマセヌガ、北海道廳令デハ僅ニ罰金五十圓ヲ課スル程度デアリマシテ、サウ云フヤウナ譯デ取締上、其點ガ非常ニ寛大ニナツテ居リマスカラ、ソレ等モ内地ト同様ニ此河川法ヲ適用シタイト云フデアリマス、ソレカラ河川ノ敷地ヲ占用イタシマシタリ、或ハ流水ヲ使用スルト云フヤウナ色ミナ河川ノ利用ハ今日經濟上非常ニ重大ナ問

題デアリマスガ、北海道ハソレニ付テハ河川取締令デハ、河川ノ利用關係ニ付テ法律ノ根據ガ明瞭デアリマセヌ爲ニ、ソレデ寧ロ、此河川水利權ナドヲ有ッテ居ル者ニ付キマシテモ、其經濟的價值ガ愈々重要ヲ加フルニ從ッテ、矢張り河川法ニ依ッテ河川ノ利用ノ權利關係ヲハッキリシテ置クト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、又第六ニハ河川工事等ヲ致シマス場合ニ利益ヲ受クル公共團體ニ負擔ノ一部ヲ命ズル、或ハ河川ノ附屬物ニシテ他ノ工作物ノ效用ヲ兼ヌルモノナラバ、例ヘバ樋門ノ如キモノハ、其ヤウナモノニ付テハ工作物ノ管理ヲシテ居ル者ニ負擔ヲ命ズル、ソレハ河川法ノ三十條ノ規定デアリマスガ、或ハ河川ニ損害ヲ及ボス營業者ニ對シテハ損害ノ負擔ヲ命ズル、是ハ河川法三十一條デアリマス、或ハ外ノ工事ニ依ッテ必要ヲ生ジタ河川工事ノ負擔者ヲ定メル、或ハ附帶工事ノ費用負擔ヲ命ズル、是ハ三十二條デアリマス、斯ウ云フヤウナモノハ總テ法律上ノ義務トシテ明ニシテ置クトガ非常ニ望マシイデアリマス、斯ウ云フ點カラ見マシテモ、北海道ニ河川法ヲ布ク必要ガアルデアリマス、要スルニ今迄原始狀態デアリマシタ北海道ノ河川ガ拓殖六十年ノ間ニ沿道ニ水田ガ出

來マスルシ、或ハ土功組合ガ出來マスルシ、或ハ水道會社ガ出來マシヤウナコトニナリマシテ、此原始河川ヲ取締ルヤウナ狀態ニ放擲スルコトガ出來ナイ、ソコヘ持ッテ來テ河川ノ平素ノ徹底的ノ取締ノ根據ヲ失ッタガ爲ニ、動モスレバ私人ガ河川ヲ濫用スル、サウ云フ結果ガ一昨年ノヤウナ大洪水ノ少クトモ相接ノ原因ニナッテ居ルト云フヤウナコトカラ致シマシテ、河川ノ取締ヲ平素カラ嚴重ニシテ行キタイト云フコト、丁度本年カラ向フ七年間ニ石狩川上流外五河川ノ改修ノ爲ニ約千三百萬圓ノ工事ヲ施行イタシマスルニ當リマシテ、矢張り河川法ヲ適用スルコトガ工事ヲ致シマスル場合ニ、敏捷適切ニ仕事ガ出來ルヤウナコトカラ致シマシテ拓殖計畫ノ進ムニ連レテ、此河川法ノ適用ヲ北海道ニ必要トスルヤウナコトニ相成リマシタコトハ、先程參與官カラ説明サレマシタ大體ノ説明ノ内容ヲ申上ゲマス云フト、以上ノヤウナ次第デアリマス

○男爵沖貞男君 サウ致シマスルト、同一河川デ以テ拓殖計畫ト此河川法ト云フモノハ併用出來ルモノデアリマスカ

○政府委員(佐上信一君) ソレハ此河川法ヲ適用スル區域ハ内務大臣ガ指定サレルコトニナリマス、區域外ニナリマスルモノハ、矢張り河川法ヲ適用セズシテ從來ノ河川デヤルコトニナリマス、ソレカラ尙ホ河川法ニ於キマシテハ、原則トシテ此河川工事ハ府縣ノ負擔トナッテ居リマス、其生ズル收入ハ府縣ニ入ルコトニナッテ居リマスガ、北海道ハ拓殖計畫デ昭和二十三年迄ノ間ニ大體河川ニ對スル拓殖計畫ガ極ッテ居リマシテ、費用モ大體繼續費ニナッテ議會ノ決議ヲ經テ居ル、其範圍内ニ於テ河川法ヲ施行スルコトニナリマスルカラシテ、河川法ノ今回ノ第六十七條ニ當分ノ内ハ二十四條一項ノ規定ニ拘ラズ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ爲スコトガ出來ル、即チ是ハ拓殖費デヤルノデアルト云フコトニナッテ居リマスカラ、河川法ヲ施行イタシマスルガ爲ニ、北海道ノ河川ノ費用ノ現在マデノ負擔部分ガ變更ヲ生ズルト云フコトハナイ積リデアリマス

○男爵沖貞男君 若モ河川法ヲ施行サレマス時ニ所謂堤外民有地ニ對シテハ色ミナ事情ガ起ッテ、或ハ買収トカ、補償トカ、賠償トカ云フ問題ガ起ルデゴザイマセウガ、是ハ將來ノコトデアリマスガ、政府ハドウ云フ御處置ヲ之ニ對シテ御執リニナルノデスカ

○政府委員(佐上信一君) 大體河川ノ堤外地ニ付キマシテハ、堤外民有地ト云フモノハ當然是ハ存在シ得ラレル譯デアリマス、ソレデ問題ニナリマスル場合ニ於キマシテハ、此河川ノ改修ヲ實行スル場合ニ其場所ヲ河川ノ敷地トシテ使フカ使ハヌカト云フ問題ガ重大ナ問題トナリマス、ソレデ北海道デハ從來サウ云フヤウナ土地ハ總テ堤外ノ民有地デ河川改修ノ爲ニ必要ナル場所ハ土地收用法ニ依ッテ賠償ヲシテ居リマシタ、其點ハ從來ト同ジヤウニ民衆ガ河川改修ノ爲ニ其敷地ヲ取上ゲラレルヤウナ場合ニ於テハ必ず賠償ヲシテヤルト云フヤウニ、國ノ豫算ノ中ニモ大體サウ云フ風ニ極ッテ居リマスシ、今迄サウ云フ風ニヤッテ居リマスカラ、河川法ヲ施行イタシマシテモ同一ノ方針デヤッテ行キマシテ、成ルベク出來ルダケ一般ノ權利ダケハ尊重シテ行クト云フヤウナ積リデ居リマス

○阪本鈺之助君 甚ダ文盲ノコトヲ御尋致シテ恐縮デアリマスガ、北海道ノ此河川、道路、橋梁等ノ費用支辨ノ區分デアリマスガ、以前ハマア無論皆國庫デアッタモノデアリマセウガ、近來道會ナドト云フモノモ出來テ、府縣ノヤウナ工合ニ道會ノ決議ニ依リ道費ノ支辨ノ土木事業ト云フヤウナモノモアルドラウト思ヒマス、其區別ハ今度此處ニ出テ居ル大キナ川ナドハ無論從來ト

雖モ、拓殖費デ支辨サレテ居ッタモノダラウト考ヘマスガ、此外ニドウ云フヤウナモノヲ拓殖費デ支辨シ、ドウ云フヤウナモノハ道費デ支辨スル、又小サイモノニナレバ市町村ガ支辨スルト云フヤウナモノハアラッシャルドラウト思ヒマスガ、其アラカタデ宜シウゴザイマスガ、御示ヲ願ヒマス

○政府委員(佐上信一君) 先ヅ此道路ノ方カラ申シマス云フト、阪本サンモ御承知ノ通り、道路法ノ制定ノ場合ニ於テ、北海道ニ付テハ特別ノ規定ヲ設ケマシテ、其規定ニ基イテ北海道道路令ト云フモノヲ設ケマシタ、ソレデ國道ハ……

○阪本鈺之助君 道路ナドハ大體デ宜シウゴザイマスガ、河川ニ關スルコトダケラ一ツ……

○政府委員(佐上信一君) ソレデ其道路令ト云フモノニ依ッテ、大體拓殖費ト道費デ負擔スル區分ハ明カニナッテ居リマス、河川ノ方ハ是ハ結局拓殖費ニ依ル其經費デゴザイマスガ、サウデナイモノハ丁度今日ノ内地ニ於ケル地方費、町村費ノ區分ガ太政官達ニナッテ居ルノデアリマスガ、地方費ニ關スルモノハ地方、其町村ニ關スルモノハ町村ニ限ルト云フ區別ガゴザイマス、之ニ依リマシテ大體河川ノ中デ地方費支辨河川トソ

レカラ町村支辨河川トニ區別シマシテ、其
地方費支辨河川ニ付テハ、内務大臣ノ認可
ヲ受ケルコトニナツテ居リマス、ソレカラ北
海道デハ拓殖費デヤツテ居リマスノハ十六
河川、其以外ニ地方費デ支辨スル河川ト云
フモノヲ、内務大臣ノ認可ヲ受ケテ居リマ
スモノ、然ラザルモノニ付テハ全部ガ町村
ノ支辨ニナツテ居リマシテ、丁度北海道デハ
指定河川ガ十六河川、地方費ノ支辨河川ガ
五十二河川ニナツテ居リマス

○阪本鈺之助君 國ノハ……

○政府委員(佐上信一君) 十六河川、ソレ
カラ地方費支辨河川ガ……間違ヒマシタ、
國費支辨河川ト云フノガ二十六河川、ソレ
カラ今ノ地方費支辨河川ガ四十二河川、其
他ハ全部町村指定河川デゴザイマス

○阪本鈺之助君 サウシマスルト今度河川

法ヲ適用爲サラウト思フノハ、無論此中カ
ラ二三ノモノガ出テ來ルノガアリマセウ
ガ、將來マダ河川法ヲ用ヒヤウト云フ御考
モ多少アラウカト思ハレマスガ、免ニ角此
二十六河川ノ外ニ出ルト云フモノハ無論ナ
カラウト存ジマス、又ソレデ府縣デ申シマ
スルト、國費ノ川ト云フモノハ誠ニ稀ナ、
御承知ノ通りノ場合デアツテ、悉ク府縣ガ負
擔シテ居ルノデアリマスガ、北海道ハ少シ

趣ヲ異ニシテ居リマスルカラ、此二十六河
川ト云フモノガ、若シ之ヲ府縣デ言ツテ來ル
ナラバ、マダ府縣ニ屬スルモノガ澤山アル
ダラウト思フ、此二十六ト云フモノハ、内
地ヲ見マスルト、ソレ程ノ川デナイモノガ
入ツテ居ルカト想像スルノデアリマスガ、是
ハ近キ將來ニ於テハマダナカノ之ヲ道費
ニ御移シニナルト云フコトハナク、相變ラ
ズ拓殖費デ御支辨ニナル、サウシテ其拓殖
費デ御ヤリニナル中ノ極ク主ナルモノヲ今
度河川法ヲ適用爲サル、斯ウ云フコトニ心
得テ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(佐上信一君) 左様デゴザイマ

ス、主ナルモノヲ拓殖費デ支辨イタス河川
ニハ……

○阪本鈺之助君 而シテ此府縣ト對照シテ

御覽ニナツタ所デ、若シ是ガ府縣デアルナラ
バ無論國費ノ支辨ニナルヤウナモノデヤナ
イ、府縣ノ費用デ支辨シテ居ル川デアルケ
レドモ、北海道ハ稍、小サイモノデモ拓殖
費ニ屬シテ居ル、地方ニ屬スル河川ト云フ
モノハ餘程小サイモノデアルト、斯ウ云フ
意味ニナルノデアリマスガ、其邊ハドシナ
風ノ常識デ行ツテ居ルモノデゴザイマスガ
○政府委員(佐上信一君) 是ハ府縣ナラバ
當然國費ニ行クダラウト思フヤウナ河川

ガ、地方費支辨河川ニ澤山アル、ソレカラ
今ノ北海道ノ只今申シマシタ國費ノ支辨河
川ノ如キハ、府縣ニアレバ、内地ニアレバ
當然國ニ移轉サレルト思ヒマス、丁度六千
方里ノ間ノ中ノ主ナルモノデゴザイマス、内
地デ申シマスルト云フト、例ヘバ十勝ナン
ゾガ丁度三縣分ニ互ルヤウナ川ヲ持ツテ居
ルノデアリマス

○阪本鈺之助君 シマスルト本員ハ却ツテ

反對ニ考ヘテ居リマシタガ、今ノ御説明ニ
依リマス、内地ニアリマスレバ國費ニ屬
スルヤウナ河川ガ北海道デハ道費ニ屬シテ
居ル、デ二十六ノ此河川ト云フモノハ内地
ヘ持ツテ來テモ無論國費デ支辨スベキ程ノ
大河川デアルト、斯ウ云フコトデゴザイマ
スカ

○政府委員(佐上信一君) サウデゴザイマ

ス、此中デ石狩川ハ是ハ御承知ノ通り千方
里位ノ流域ガアルノデスガ、夕張川ニシテ
モ八十方里、千歳川ニシテモ六十八方里、
利別ハ四十六方里ト云フノデスガ是ハ狭イ
方デスガ、流域ガアリマス、内地ヘ來ルト
大シタ川ナンデアリマス

○阪本鈺之助君 サウシテ見マスルト、河

川法デ指定サレル時分ニ北海道ヲ除イタト
云フコトハ費用ノ負擔ト云フヤウナコトヲ

眼中ニ置カズニ、マダ北海道ハ野蠻國デア
ルカラ河川法ナドト云フムツカシイ法律ヲ
施行スルニ早イ、川ノ性質ト云フモノハ眼
中ニ置カズニ、除外サレタモノト斯ウ解釋
シテ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(佐上信一君) 拓殖ノ、詰リ道

廳最初ノ明治三十年頃ハ漸ク拓殖計畫モ
立ツカ立タスカト云フ時デ、北海道ノ川ヲ
ドウシテ行カウト云フ政府モ餘リ重キヲ置
カナカッタ、石狩川ダケハ手ヲ著ケテ居ラレ
タ、ソレデ水害ガアリマシテモ、要スルニ
殆ド原野ノ上ヲ水ガ流レル位デ、何モナカッ
タ、所ガ拓殖計畫ノ進ムヨリ民間ノ仕事ガ
進ンデ參リマシテ、石狩川ノ沿岸ノ如キハ、
北海道ノ米ノ約三分ノ一位穫レル位開ケテ
來タ、其爲ニ水害ガアリマシテモ非常ナ間
題ガ起キマスシ、人口モ約八十萬モアリ沿
岸ニ住ンデ居ルト云フヤウナ譯デ、要スル
ニ拓殖ガ進ンデ參リマシテ、河川ノ重要視
サレルコトガ、内地ト違ハナイヤウニナツテ
來タ、ソレガ河川法ヲ施行シテ行キタイト
云フコトノ元ナンデアリマス

○阪本鈺之助君 甚ダ相濟ミマセヌガ、此

間今度適用ニナル河川ノ名稱等ヲ御示ニ
ナツタヤウデアリマスガ、數ダケデモ宜シウ
ゴザイマスガ、今度御適用ニナルノガ幾川

デアッテ、サウシテ尙ホ將來ニ於テドノ位ノモノハ矢張り、河川法ヲ適用スル部分ニ入レルノデアルトカ、或ハモウ入レル積リデアルトカ云フコトヲ一ツ……

○政府委員(佐上信一君) 大體此度指定ヲ致シマスルモノハ拓殖計畫ノ中ニ入ッテ居リマシテ、其改修計畫ガ既ニ拓殖計畫ヲ進行シ、又拓殖計畫ニ於テ改修ノ豫算ノ議定ヲ經タモノダケヲ持ッテ行カウ、ソレガ十六河川ニナルノデス、其外ハ將來地方ノ開發、ソレカラ河川ノ重要性ガ増シテ參リマシテ、政府ガ北海道ノ國費改修河川ニ關スル豫算ヲ議會デ議定ヲ經タ後デナケレバ指定ヲ擴張シテ行カナイ積リデゴザイマス、後ノ十河川ニ付テハデス

○阪本鈺之助君 併シ道廳トシテハデスネ、道廳トシテ御覽ニナツク所デハ、近キ將來及遠キ將來ニ於テ、マダ此ノ位ハドウモ河川法ヲ適用センケレバナルマイト思ッテ居ル、ト云フ御胸算ガアリマセウカ

○政府委員(佐上信一君) ソレハマダ十河川ヲ將來目標ニ置イテ居ルノデス、此後ニ殘リマシタモノデス、詰リ此二十六河川ノ中ノ十河川ヲデス

○阪本鈺之助君 今直グニヤルノハ十六河川デスカ

○政府委員(佐上信一君) 十六河川デス
○阪本鈺之助君 十六河川ハ決ッテ居ルノデスネ

○政府委員(佐上信一君) エエサウデス、其後ノ十河川デス、丁度北海道重要河川ト云フモノハ二十六河川アルノデゴザイマス

○阪本鈺之助君 分リマシタ

○政府委員(佐上信一君) 是ハ豫算ガ決マラナケレバ、此十河川ハ此指定ヲ追加セヌコトニ致シテ行キタイト思ヒマス

○委員長(子爵白川資長君) 別段御質問ゴザイマセヌカ

○阪本鈺之助君 モウ御質問ガ若シゴザイマセヌナラバ、實ハ能ク分ッテ居ルコトノヤウデゴザイマスカラ、討論ヲ御始メ下サイマシテ……

○委員長(子爵白川資長君) ソレデハモウ御質問ナイト思ヒマスカラ、是カラ討論ニ移リマス

○阪本鈺之助君 本員ハ、是ハ當然ナ歸結デアリマシテ何等不思議ノナイコト考ヘマスカラ、別ニ意見ヲ挾ミマセヌ、原案デ結構デアラウト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○男爵沖貞男君 此法案ハ所謂北海道ノ拓殖事業進捗ノ狀況、又頻々タル水害ニ鑑ミテ、河川ノ保護取締ノ徹底ヲ期スル爲ニ北海道ノ河川ニモ河川法ヲ適用スル、又當局ニ伺ヒマスレバ、特ニ内地ト違フ點ハ當分ノ中勅令ヲ以テ規定セラレルト云フヤウナ至極御尤ナ提案デアルヤウニ思ヒマスカラ之ニ贊成ヲ致シマス

○委員長(子爵白川資長君) ソレデハ全部原案通りデ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵白川資長君) ソレデハ原案通ニ決定イタシマス、是デ休憩イタシマシテ午後一時半ヨリ開會イタシマス

午後一時四十七分開會

○委員長(子爵白川資長君) ソレデヤ開會イタシマス、五大都市ニ特別市制實施ニ關スル法律案ヲ問題ニ致シマス

○阪本鈺之助君 是ハ衆議院ノ提出案デアリマスカラ、政府ニ立入ッテ御尋スルノモ如何カト思ヒマスケレドモ、之ヲ審議スル上ニ於テハ、參考上政府ノ御所見ヲ十分伺ハナケレバナラヌコトガアルト思ヒマスカラ、少シ御尋イタシテ見タイト思ヒマス、此東京都制ト云フモノハ年來ノ問題デアリ

マシテ、昨年ノ如キハ政府カラ提出サレタノガ未了ニ終ッタト云フヤウナコトデアリマス、ソレバカリデナク東京ニ都制ナリ若クハ特別市制ナリヲ布クト云フコトハ宿題ニナッテ居リマス、或ハ六大都市ニ特別ノ市制ヲ置クト云フコトモ問題ニナッテ居ルノデアリマスガ、此度ハ却ッテ東京都制ヲ置イデキボリニシテ、サウシテ此後ノ大阪以下ノ五大都市ニ特別市制ヲ置カウト云フ案ガ衆議院カラ出マシテ、衆議院ハ通過ヲ致シテ、只今本院デ審査スルト云フコトニナッタノデアリマス、此間本議場ニ於キマシテ、本員カラ政府ニ御質問ヲ致シタ所ガ、内務大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、ドウモ氣ニ入ラヌカラ同意ガ出來ナイト云フヤウナ意味ノ御答デアリマシタ、何時モサウ云フヤウナ政府ハ態度ヲ執ッテ御出デニナルノデアリマス、併シ昨年ハ大イニ御奮發デ御提案ニナツタ譯デアリマスカラ、マア東京ニハ何カヤラナケレバナルマイト云フ御考ガ動イテ居ルト認メテ宜シイト思ヒマスガ、試ニ私共ガ之ヲ審査スル上ニ於テモ、東京都制ハ如何ニナルカト云フコトヲ別問題ニシテ置イテ、此五大都市ノ特別市制ト云フモノノ可否ヲ論議スルト云フコトハ、誠ニ倒行逆施、逆シマニナリマシテ困ッタモノダ

ト思ヒマス、併シ何分ニシテモハ早晚解決シナケレバナラヌ問題デアリマスカラ、事ノ序ニ先ヅ以テ此五大都市ニ付テ研究スルノモ萬更徒爾デハナカラウト思フノデアリマス、故ニ御尋ヲ致シマスガ、人ノ案ニ付テ御説明ト云フコトハ御迷惑デアリマセウガ、第一番ニ此東京都制ト云フモノハ、殆ド東京府ガ市トナルト云フ形ノヤウデアリマスカラ、寧ロ問題ガ解決シ易イト思ヒマスガ、今度出テ居リマスル五大都市ト云フコトニナリマスルト、何レモ府縣ノ間ニ介在シテ居ル市ニ特別ノ市制ヲ置イテ、第一次ノ監督ヲ離レテ、内務大臣ノ直接ノ監督ヲ受ケ、サウシテ總テノコトガ内務省ニ直屬シテ行キ、形ノ上カラ言ヘバ府縣ト同等ノモノニナル、是亦時勢ノ進歩ニ伴ヒマシテ、私一個ノ考デ申シマスレバ相當ナコトデハナイカト存ジマスルガ、最モ鄭重ニ考ヘナケレバナラヌコトハ、此即チ五大都市ヲ有シテ居ル府縣ガ、此案ノ如ク市ト云フモノガ獨立ヲシマシテ、後ニ取殘サレタ今日迄ノ郡部ニ屬スル所ノ區域、人口、區域ハ一目シテ地圖ヲ開ケバ直グ分ル譯デアリマスガ、人口ハ或ハ京都府ハドウデアル、大阪府ハドウデアル、横濱神戸ハドウデアル、ドレダケノ人口ガ殘ルノデ

アル、又經濟上カラ考ヘテ、三部制ト云フモノガ今日殆ドナイ、名古屋ノ外ニハ確カナイカト思ヒマスガ、元府縣會ニ三部制ト云フモノガアツタ時分ノ、丁度郡部會ニ屬スル分ダケガ殘ル譯ニナル、東京ノ如キハ若シ郡部ダケ取殘サレテ行ツタ日ニハ、逆モドウスルコトモ出來ナイノデスカラ、是ハ全部市ニナルノデアリマス、問題ハナイノデアリマスガ、其他ノ府縣ニ於テ、以前申シタ郡部ニ屬スル處ダケガ、今度大阪府ト稱シ京都府ト稱シテ、ドウ云フ形ノモノガ出來ルカ、是ハ衆議院デモ論議サレテ、既ニ十分ノ御研究ガ濟ンデ居リマセウシ、此邊ノコトハ内務省デハ既ニ御材料モ備ハツテ居リマセウカラ、之ヲ審議スルニ當ツテ、先ヅ以テ大體デモ宜シウゴザイマス、尤モ今日直グニ承ハラウトハ思ハヌ、次ノ會議ノ時ニ斯ウ云フモノニナルノダト云フコトヲ御示ヲ願ヒタイ、是ハ參考ノ材料トシテ頂戴ヲシタイト思フノデアリマス、ソレカラモウツハ政府ガ今年ハ東京都制ト云フモノハ、都長ノ官選公選ト云フコトニ御引ツ懸リニナツテ、少シ口惡ク申セバ是ハ宜イコトガ出來シタ、市ノ方デハ公選ト言ヒ、政府ノ方デハ官選デナケレバナラヌト言フ、之レガ解決シナイ以上ハ圓滿ナ解決

ハ至難デアルカラ、ソレガ決マルマデト云フコトデ、政府ハ一時通レヲシテ居ルデハナイカト、少シ僻シタ眼デ見ルト思ハレルヤウデアリマスガ、マサカサウ云フコトデモアリマスマイケレドモ、私共ニ言ハセルト官選ナラ官選、公選ナラ公選デ、宜シク政府ノ見識ヲ以テ、而モ是ハ東京市會ノ決議デナイ、唯市會議員ノ者ガ言ツテ居ル、ソナコトヲ氣ニシナイデ、官選デナケレバナラヌト云フ御考ナラバ官選都長ト云フコトニシテ、宜シク東京都制ト云フモノヲ此議會ニ御提出ニナルベキデハナカッタカト思フノデアリマス、マア惡ク言ヘバ事ヲソレニ藉リテ御出シニナラナカッタヤウニモ私共ニハ感ズルノデアリマス、其邊ノ御消息ハドウ云フモノデアリマセウカ、而シテ今申ス通りソレヲ置イテケボリニシテ五大都市ヲ衆議院ガ出シテ來、東京都制デサヘ政府ハ御不同意ノ形デアアルノニ、況ヤ五大都市ガソレヨリ先ニナツテ來ルト云フコトハ、無論容易ニ御同意ニナルモノデナイト云フコトハ想像ニ餘リアルノデアリマスルガ、御本音ハドウ云フ所ニアルノデアリマセウカ、内務大臣ノ御答辯デハ、ドウモモット考ヘナクテハイカスト云フヤウナコトデ、マア座談の御答辯デアリマシタ

ガ、御主任ノ所デハ御差支ノナイ限りハ、ドウ云フコトニ於テ之ニハ同意ガ出來ヌトカ、斯ウナレバ同意ガ出來ルカモ知レヌトカ云フヤウナ御消息ガ承ルコトガ出來マスルナラバ審議ノ材料トシテ非常ニ力ニナルト考ヘマスカラ、御聽カセヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(安井英二君) 只今阪本サンカラ御尋ニナリマシタ點デアリマスルガ、只今仰セニナリマシタ第一ノ市部郡部ノ人口ニ付キマシテハ、數字デゴザイマスルノデ、別ニ刷リマシテ御手許ニ差出シタイト存ジマス、

(阪本彰之助君「ドウゾ……、經濟ノ關係モドウゾ願ヒマス」ト述ブ)

稅トカ、サウ云フモノデスナ、ソレカラ第二ハ昨年政府ハ東京都制案ヲ議會ニ提出シナガラ、本年ハ何故ニ提出シナイカ、其理由ハ奈邊ニアルカト云フヤウナ御尋デアツタカト存ジマスガ、是ハ昨年政府ガ議會ニ提出致シマシタ東京都制案ノ審議ノ當時ノ模様カラ察シマスルト、案ノ重要骨子トナルベキ事項ニ付キマシテ非常ニ異論百出致シマシテ、意見ノ一致ヲ見ルコトガ出來ナイヤウニ見受ケラレタノデゴザイマスカラ、ソレデアリマスカラ斯様ニ政府ト致シ

マシテハ、一應是レナラバト思フテ出シマシタ案デハゴザイマスルケレドモ、實際昨年提案ヲ致シマシタ狀況カラ見マス、只今申述ベマシタヤウナ風ニ重要骨子ニ付キマシテ意見ノ一致ヲ見ルコトガナカク、困難ナヤウナ狀況ニアリマシタノデ、昨年ノ今年ニ於キマシテ又同様ナ案ヲ出スコトハ如何ナモノデアラウカト云フ所カラ、内務大臣ト致シマシテハ本年ハ提案ヲ見合ハシテ、尙ホ能ク一ツ考ヘタラドウダ、斯ウ云フコトニ相成リマシタノデ、本年ハ遂ニ提案ヲ見ルニ至ラナカッタノデゴザイマス、ソレカラ第三ニ此五大都市ニ特別市制實施ノ關スル法律案ニ付テ、ドウ考ヘテ居ルカト云フ御尋デゴザイマシタデアリマスルガ、之ニ付キマシテハ此案ニゴザイマスルヤウニ、此法律案ハ京都市大阪市、横濱市、神戸市及名古屋市、此五大都市ヲ、此五大都市ガ屬シテ居リマスル府縣ノ區域カラ除外致ス案デアリマスルケレドモ、之ニ付キマシテハ元來都市ニ農村ヲ包括イタシマスル區域ト致シマシテ都市農村ニ互リマシテ、統一的综合的ノ事業ヲ致スベク府縣ト云フ中間ノ團體、府縣ト云フ自治體ノ性質カラ顧ミマシテ、今此市ダケガ此府縣カラ脱退セシムルコトガ果シテ地方制度トシマシテ全然問題

ノナイ、議論ノナイ所デアラウカドウカ、モウ少シ、果シテソレガ適當デアラウカドウカト云フコトハ考究スル必要ガアルノデハナカラウカ、又五大都市ニ致シマシテモソレハ大都市デアルト云フコトハ同様デアリマスケレドモ、五大都市ハソレハ政治的若クハ經濟的其他色ミ事情ヲ異ニシテ居ルノデアリマシテ、之ヲ果シテ直グ同一ノ制度ニ律スルコトハ適當デアラウカドウカト云フコトモ亦政府ト致シマシテハ深ク考ヘナケレバナラヌノデヤナイカ、斯様ニ考ヘマスルト、モウ少シ慎重ニ考究ヲスル必要ガアルノデナイカ、兎ニ角今日ノ地方制度ノ根本的改革デアリマス以上、相當ノ見通シノ付キマシタ確信ヲ持ツニアラザレバ左様ニ致スコトハ如何ナモノデアラウカト云フヤウナコトカラ、衆議院ニ於キマシテモ、政府ハ此案ニ對シテ遽ニ同意スルコトガ出來ナイト云フコトヲ内務大臣カラ申述ベテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、是ガ今日私共考ヘテ居ル實情デゴザイマス

○阪本鈺之助君 ソレカラ假リニ此案ガモノニナルトシマシタ時ニ、警察ノ問題デアリマスガ、是ハ衆議院アタリデハ論議サレタカ如何デゴザイマセウカ、是ガ獨立シタ市ニナリマス、矢張り警察ハ丁度警視廳ノヤウナモノガ知事ノ監督ノ下ニ、監督デヤナイ、府縣廳ノ中ニ警視廳ガアルヤウナモノデ、丁度東京ニ於ケル警視廳ト同ジ關係デ府知事ガ持ッテ居ル警察ガ其儘東京ノ警視廳ノヤウナ内容ヲ爲ス、斯ウ云フ見地カラ此案ガ出來テ居ルモノト見テ居リマスガ、政府モサウ云フ風ニ御認メニナッテ居リマスノデスカ、是ハ併シ政府ノ案デナイカラ御答ハ御迷惑デアリマセウガ、サウ云フ趣意ノモノデアリマセウカ

○政府委員(安井英二君) 只今仰セニナリマシタコトニ付キマシテ、丁度私衆議院ノ委員會當時居リマセナカッタノデアリマスカラ明確ニ覺エテ居リマセヌガ、衆議院ニ事務官ガ其席上ニ居ラレマシタ時ノ御話ニ依リマスルト、大體警察權 現在ノ通りニ府縣知事ニ與ヘテ置カウト云フヤウナ意見デアッタト云フコトデゴザイマスガ、或ハ若シ速記録ヲ見テ居リマセヌノデ間違ッテ居リマシタナラバ御訂正ヲ願ヒマス

○阪本鈺之助君 何様今日マデ長年大變ナ大キナ市デモ府縣知事ノ一次監督ヲ受ケテ是マデ郡役所ガアリマス時分ニハ、郡役所ノ大小ハアリマスガ、郡役所同様ノ取扱ヲ受ケテヤッテ來タ事柄デアリマスカラ、是ガ今現ニ同ジ縣廳ノアル所ト市役所ノアル所デモ何處デモ同ジ所デアル、然ルニドウモ縣廳ト市役所トハ別ニナッテシマッテ兩方トモ内務大臣ノ監督ヲ受ケルト云フコトハ形ノ上カラ申シマス、何ヤラ氣ノ濟マヌモノダト云フコトハ確ニ私共モサウ思フ、思フケレドモ又一方利益カラ申シマス、縣會ニモ今日デハ先刻申シタ三部制、部會ト云フモノハナクナリマシタケレドモ、兎ニ角同ジヤウナ力ノアルモノガ、縣ト云フモノト市ト云フモノトガ矢張り其中ニ抱擁サレテ、譬ヘテ申シマスルト府縣稅ヲ知事ハ之ヲ課ケル、縣會ノ決議ヲ經テ課ケル、市ハドンナ大キナ市デモ其附加稅ホカ取レナイ、殆ド府縣ヨリモ力ノ強イヤウナモノガ獨立シテ出來ルノニ稅ヲ課ケル上ニ於テハ國稅ノ方ハ假ニ仕方ガナイトシテモ、府縣稅ノ附加稅ホカ取レヌナドト云フコトハ甚ダ不道理ナコトデハナイカト思フ、又是ハ取ル方デスカ、出ス方カラ言ヒマシテモ同ジコトヲヤッテ居ル、府縣ノ方ニモ社會課モアレバ教育課モアル、此間モ本議場デモチヨット申シマシタガ、現ニ今東京デ起ッテ居ル小學校長ノ疑獄事件、前ノハ名古屋ニアリマシタ、其他ニモアル、是ハ視學ト云フモノハ縣廳ノ方ニハ視學官ト云フモノモアリ、視學ト云フモノモアリマスガ、其視

學、視學官デモ市役所ノ役人ヨリハズツト月給ハ少イ、而シテ官等ノアル人デ官吏デアルカラ身分ハ高イ、サウ云フモノガアル、市役所ノ方ニハソレヨリ澤山月給ヲ取ツテ居ル教育部長ト云フモノガ居ッテ其下ニ官制ガ認メテ居ルノデヤナイ、市役所限リデ話合ッテハ居リマスガ、土木ノ方デ申シマシテモ縣廳ニモ大キイ縣ナラ土木部長ガ居リマスガ、或ハ土木課長、係給カラ言ッテモ、市役所ノ土木部長ヨリズツト係給ノ少イ人、現ニ市廳ノ方ノ係給カラ比ベテモ大變ナ違ガアリマスカラ、斯ウ云フコトガ甚ダ可笑シイモノデアリマスルシ、可笑シイバカリデナイ、經濟上カラ申シテモ同じ仕事ヲシテ居ルノニ、二重ニ同じ名前ノモノヲ、殊ニ社會事業ナドニ近頃非常ニ必要ナ事柄ガ多イガ、縣廳デモ社會事業ヲスレバ、市役所デモ社會事業ヲシテ居ル、宜シク重複セヌヤウニ成ルタケヤッテハ居リマセウガ、同じコトヲ例ヘバ貧民病院ヲヤルトシテモ一ツノ經濟デヤレバ餘程便利ニ行クダラウト思フ、何ヤラ市ガ致スト、モウ直グソレニ對抗シテ市役所デヤルナラ我々ノ方デモヤル、我々ノ方デヤルナラ市役所ノ方デモヤルト云フコトデ、其金ハ何處カラ出ルカト云フト矢張り府民市民ノ手カラ

出ルノデアッテ、取ラレル方カラ言フト一人ノ且那サンガ仕事ヲ爲サル、費用ハ奥サンノ手カラ出ル、ソレヨリ且那サマモ色々御ヤリニナレバ奥サンモ御ヤリニナルト云フコトデ經濟的ニ行クノデアアル、今度ノ東京ノ疑獄事件ナドモ二重ニヤッテ居ルノダカラ、却ッテ締ガ付キサウナモノデアアルガ、市役所ニハ月給ヲ取ッテ居ル教育部長、視學ガアルシ、府廳ノ方ニモ同様ニ相當ノ視學ガアルノニアア云フ不調法ガ出來テ居ルト云フノダカラ、寧ロ一ツノモノニシテ經濟ノ方カラ言ッテモ利益ガアリマスルシ、又之ヲ統括シテ行ク上ニ於テモ互ニ靠レ合フト云フヤウナ風ノ弊ガアリマス、現ニ今日ハ小學校ノ校長ノ進退、訓導ノ進退ナドト云フモノハ小學校ノ常例ノ上カラ云フト知事ガヤルコトニナッテ居リマスガ、東京ノヤウナ、モット小サイ市デモサウデスガ、市長ガ上申スレバモウ府縣廳ハ官判ヲ捺スト云フノガ殆ド常例ニナッテ居ル、サウ云フヤウナコトヲ誠ニ唯形式ノ上カラ縣廳ガ扱ッテ居ルノデ、是ガ一ツノモノニナルト、市ニ存在スル所ノ小學校ノ職員ノ進退ナント云フモノハ市長ガ決メレバ直グニ之ヲ實行スル、是ハ小學校令ニ多少ノ改正ヲ加ヘナケレバナラヌカモ知レマセヌガソレハ直ニ出

來ル、サウ云フヤウナ利益ノ方カラ數ヘマスト又大變ニ利益ガアルト思フノデスガ、斯ウ云フヤウナコトハ又他ノ省ノ關係ニモ跨ルコトデアリマスガ、嘗テ内務省ヲ主トシテ其他ノ省トモ御交渉ニナッテ大凡其御調ハ十分付イテ居ッテ、是ダケノ利益ガアルノダガ、ドウモ他ノ事情ニ於テ直グニ出來スト云フヤウナ程度マデハ御進ミニナッテ居ルノデゴザイマセウカ、其點ハドンナ程度ノ御調ガ付イテ居リマセウカ、參考ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(安井英二君) 只今阪本サンカラ仰セニナリマシタヤウニ、大都市ニ付キマシテ、其大都市ニ屬シマスル府縣トノ關係ニ於キマシテ、只今御示ニナリマシタヤウニ、租税ノ所謂稅源配分ノ問題デゴザイマスルトカ、或ハ又社會事業、教育、土木其他色々ナ事業ニ付キマシテ、其事業ヲ重複シテヤッテ居ル嫌ガアルノデヤナカラウカ、能率ヲ上ゲル爲ニハモウ少シ聯絡統一ヲ圖ル必要ハナイカト云フ點ヲ御指摘ニナリマシタノデアリマスルガ、其點ニ付キマシテハ私共全ク同感ニ存ジテ居リマスル次第デアリマシテ、此點ニ付キマシテハ出來ルダケ改善ノ途ニ進マナケレバナラヌト存ジテ居リマス、唯ソレガ爲ニ直チニ根本的

制度ノ變革マデ致サナケレバナラヌカドウカト云フコトニ付キマシテハ、モウ少シ本當ニ確信ノアル見透ガ付カナイト如何カト思ヒマスケレドモ、併シ只今御指摘ニナリマシタヤウナ實情ニ鑑ミマシテ之ヲ出來ルダケ改善スルト云フコトダケハ是非努メナケレバナラヌト存ジテ居リマス、尙ホ之ニ付キマシテドウ云フヤウナ調ニナッテ居ルカト云フ御尋デアリマシタノデアリマスルガ、ナカノハ是ハ各省各局ニ關係アル事項デゴザイマシテ、殆ド地方自治體ニ關シマスル總テノ法令ニ互ッテ事務ノ者トシテハ一應當ラナケレバナラヌノデアリマシテ、從ッテマダ具體的ニドウ斯ウト云フコトヲ申上ゲマスマデノ程度ニハ立至ッテ居リマセヌノデアリマス、唯先程モ御話ガアリマシタ中デ、六大都市ハ他ノ中小都市トハ違ッテ非常ナ實力ヲ持ッテ居ルト云フ事實ハ無論認メナケレバナラヌノデアリマシテ、此意味ニ於キマシテ、今日ニ於キマシテモ六大都市ノ監督ニ付キマシテハ監督ノ特例ト云フモノヲ御承知ノヤウニ設ケテ居ルノデアリマス、唯其特例ガ自治事務ダケニ限ッテ居リマシテ、國政事務ニ付テハ何等マダ特例ヲ認メテ居リマセヌノデ、是ハ折角サウ云フ法律ガ出來テ來マシテ、而カモソレニ

付テノ實際ノ取極ガマダ十分ニ行ッテ居リ

マセヌノデアリマスカラ、之ニ付キマシテ

ハ出來ルダケ早く市ニ屬シマスル國政事務

ニ對シマシテ府縣知事ガ持ッテ居リマス監

督權ノ中デ事ノ輕重ヲ考ヘマシテ、省略シ

テ宜イモノハ出來ルダケ早く省略致シマシ

テ事務簡捷ヲスルコトガ必要デナカラウカ

ト云フコトデ、其調ハ現ニ進メテ居ルノデ

アリマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、各

省ニ關係ヲ持ッテ居リマスノデ、各省トモ能

ク連絡ヲ保チマシテ、協議ヲ進メテ出來ル

ダケ早く其成案ヲ得タイ、斯様ニ思ッテ今努

力イタシテ居リマス

○委員長(子爵白川資長君) 御質問ハ本日

ハ此邊デ……

○阪本鈺之助君 皆様ニ御質問ガアレバ格

別私トシテハ是ダケ承リマシタカラ、之ヲ

基礎トシテ能ク考ヘテ見タイト思ッテ居リ

マス、皆様モサウデナイカト思ヒマス、私

ハ此程度デ御止ヲ願ヒマシテ、能ク材料ヲ

頂戴シマシテ、一兩日考ヘテ見タイト考ヘ

マス、サウ云フ扱ガ出來マスナラバ……

○委員長(子爵白川資長君) ソレデハ本日

ハ此程度デ止メテ置キマシテ、何レ其中材

料ヲ戴キマシタ上デ致スコトニ致シマス、

本日ハ是デ散會イタシマス

午後二時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵白川 資長君

副委員長 阪本鈺之助君

委員

侯爵蜂須賀正氏君

子爵水無瀬忠政君

若林 資藏君

男爵沖 貞男君

川上 親晴君

水野甚次郎君

政府委員

内務省地方局長 安井 英二君

内務省土木局長 唐澤 俊樹君

北海道廳長官 佐上 信一君

昭和九年三月十九日印刷

昭和九年三月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局